

fukudai

Press

38

2019.12

あのキャリア支援課が
ドラマに。
— 特集より



創造力、実践力。

国立大学法人

福井大学



CONTENTS



福大の出来事を
ハッシュタグ「#universityoffukui」で
インスタグラムにポストしよう！

4 特集 福井発 NHK BSプレミアム
ドラマ「シーカツ屋」ロケ現場にて

就活生のリアルに迫る





6 研究者ファイル

- [File17] 教育学部 橋本 康弘教授
- [File18] 高エネルギー 岡沢 秀彦教授
- [File19] 工学部 寺崎 寛章助教
- [File20] 国際地域学部 岡崎 英一教授

10 Fukudai ACE

輝くエースたちにクローズアップ！

12 産学官連携本部発

未来への布石

コラム「知的財産・技術移転部です」第5回

FUKUDAI NEWS

14 こちら学生広報室 No.005

「福井大学生協の知られざる魅力を探る！」

16 It's My CIRCLE

フォーミュラカー製作プロジェクトFRC／医学部競技スキーパー部

17 学びのバトン

小林由佳さん（越前町立宮崎中学校 教諭）

18 学長の思い出箱 BOX No.02 大先達の小箱

19 福井大学基金 寄附者ご芳名



就活生の心の内側

大川祐一郎ディレクター（以下、大川）／ドラマ「シューカツ屋」の撮影は始まつばかりですが、白石さんはご自身の役についてどんな印象を持っていますか。

白石聖さん（以下、白石）／ドラマには、核となる就活生が三人登場するのですが、そのなかで、私が演じている花岡真実は、いい意味でキャラクターが強すぎない、どちらかというとリアリティに沿っているなという印象です。繊維工学科に在籍していて、将来やりたいことは考えているのに、どこでもいいから就職したいなんて言ってしまう。高橋さんは、実際に繊維工学を専攻しているんですよね。

高橋和也さん（以下、高橋）／そうです。繊維工学って、イメージしづらくないですか。

白石／顕微鏡を見ていそう。

高橋／当たってます、顕微鏡で糸を見ています。ものすごい細い繊維をつくったり、新しい素材を繊維化するための研究が主です。僕は繊維を扱っている企業に就職しようと考えて

いましたが、いざ就職活動がはじまるとき、白石さんが演ずる真実さんと同じように、とにかく内定をいただきたいと思う気持ちが強くなりました。自分のやってきたことと相反する仕事を選んでいいのかという葛藤は就活中、常にありました。

白石／私は実際には就活という道をたどってこなかったのですが、就活をしていた友達が、やりたいことと自分の適性がうまく合わないといった悩みを抱えているのを見ていて、シビアな部分があり大変そうでした。

高橋／結果的に僕は、繊維関係以外の企業に内定しているのですが、自分が学び研究してきた繊維工学を使って新しいものを生み出すという価値を見出せそうなところなので、僕にとても合っていると思っています。

活という乗り越えなければならない壁のためにやることがこんなにあるんだと、社会の厳しさを感じています。

白越明さん（以下、白越）／私、就活がはじまつばかりの頃は何もわからなくて、とても戸惑いました。ノックの回数が決まってたり、就活用のメイクがあつたり……。就活ってこんなところからはじまるんだなど、正直、驚きました。自己PRでも、言いたいことはたくさんあるのに、それが初めは相手にぜんぜん伝わらなくて。

白石／私もすごく苦手なんです、自己PR。さっきお話した、真実が使っている「就活BOOK」のなかにも自己分析や自己PRのページがあって、自分の強みは何かとか、短

就活支援

自己PRに正解ってある？

白石／私、撮影の合間に小道具でもある「就活BOOK」を読んでいるのですが、単純にこんなに分厚い就活用の参考書があるて、大学での勉強や研究のほかに、さらに就

福井大学の就職活動支援をモデルにNHKのドラマが制作されている。

ロケが文京キャンパスで行われた日。

撮影の合間を縫って参加してくれた、

就活生役の女優・白石聖さんを囲んで、

実際に就活を終えたばかりの福大生、高橋和也さんと白越明さん、

そしてNHK福井放送局ディレクター・大川祐一郎さんが集まり

就活の今を、語り合った。

特集

福井発 NHK BSプレミアム
ドラマ「シューカツ屋」ロケ現場にて

就活生の リアルに迫る

白石 聖さん SHIRASHI Sei

神奈川県出身。高校2年のときに原宿でスカウトされ芸能活動をスタート。2016年6月にドラマ『AKBラブナイト 恋工場』(テレビ朝日)で女優デビュー。白石聖のわたくしごとですが…(文化放送)でラジオパーソナリティを務め、結婚情報誌・リカルート「ゼクシィ」12代目CMガールに起用され、映画『PRINCE OF LEGEND』でロインを演じるなど、さまざまな媒体で幅広い活躍をみせている。第15回「コンフィデンスアワード・ドラマ賞」新人賞(『絶対正義』)。

所を長所に変えるだとか。オーディションのときなどに参考になるかなと思うながら読んでいました。でも、自分の強みって未だにわからない。この撮影期間に、そんな新しい強みみたいなものに出会えたらいいなと思います。

高橋／自分の良さって、なにかふわふわしているというか、自分自身が良さだと思っていても他の人から見たらどうなのか。僕は、いろんな企業の面接で、自分が強みにしていることが、プラスなのかマイナスなのかを、相手のリアクションや返答を見て判断するようにしていました。

白越／相手によって、微妙に受け取り方は違いますよね。私は、自分が満足することより、相手を満足させるというか、とにかく相手にわかるように話すことが大切だと、何回か面接を受けて気づきました。それは、これから仕事をしていくうえでも大切なことかなと思っています。白石さんは、女優として、社会人としてすでに働いていらっしゃいますが、働くことの意義ってなんだと思いますか？

白石／いやあ、難しい、なんだろうな。もちろ

ん、お金を稼ぐこともあるかもしれないけれど、自分のやりがいとか、人生を送るうえでの楽しみみたいなものを、「見つけて」「育っていく」、そういう部分を養っていくものなんじゃないかなって思います。

就職先を見つけることだけが就職支援ではない

白越／大川さんは、どうして福井大学の就職支援をモデルにしたドラマを制作しようと思ったのですか？

大川／福井県はいろんなナンバーワンを持っていますが、福井大学は国立大学のなかで12年連続で就職率がナンバーワンです。そこを題材にして、今の就活生の苦労を知つてもらい、まさに福井大学のキャリア支援課のような、学生一人ひとりに向き合った就職支援の現場を描きたいと思ったのが大きな理由ですね。

高橋／大川さんが大学生の頃は、そういった就職支援の体制はありましたか？

大川／私の通っていた大学にも就活支援室は



ありましたが、なかなか自分からアクセスしづらかったですね。そういった学生は、今でも多いと思うので、福井大学のように大学の側から学生にコミットしていくというのは、非常に大切な試みなんじゃないかなと思います。白石／ドラマのなかの登場人物は、就活支援室のスタッフも含めて、全員がとてもいとおしいキャラクターたちなので、支援室は就職先を見つけることだけじゃなく、自分を肯定してもらえるような場所なんです。そういったことを感じられて温かい気持ちになれる作品になればいいなと思っています。実際に、就職活動をされている方が、大学内にもたくさんいらっしゃって、そんな皆さんのお話をちょっとでも後押しできるような。就活生だけでなく、ご両親だとか、もちろん他の大学の皆さんにもぜひ見ていただければと思います。



福井発地域ドラマ 「シューカツ屋」 ロケ取材会 2019.9.30

NHK BSプレミアムで放送予定のドラマ「シューカツ屋」のロケが、福井大学文京キャンパスで行われた。この作品の舞台は、福井大学のキャリア支援課がモデル。学生たちを力強く支える“就活支援員”を描いたハートフルコメディです。主人公で型破りな就活支援に打ち込む女性を水川あさみさんが演じます。

この日のロケは、就活支援室で就活生の内定をくす玉で祝うシーン。この就活支援室は、実は総合研究棟Iの2階に作られたセットです。主な出演者は、水川あさみさん（主人公・流川美野里役）、橋本じゅんさん（就活支援室長・叶野仁志役）、田上晃吉さん（美野里の同僚・長谷部徹役）、上川周作さん（就活生・植田直成役）、白石聖さん（就活生・花岡真実役）、篠田諒さん（就活生・内村佑役）。

放送は2020年2月26日(水)、NHKBSプレミアム夜10:00～11:00の予定です。

正解のない問題を考える 主権者教育の大切さ

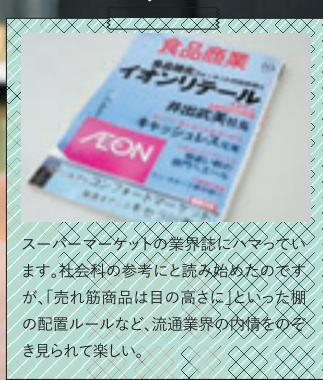
橋本 康弘

HASHIMOTO Yasuhiro
教育学部 教授(社会科教育・公民教育)

Profile

1971年、広島県生まれ。1995年、広島大学教科教育学専攻博士課程前期修了。1995年、広島県立高等学校教諭、2001年、広島大学附属福山中・高等学校教諭、2002年、兵庫教育大学学校教育学部助手、2004年、福井大学教育地域科学部助教授、2015年、同学部教授、2016年、同大教育学部教授となる。

It's My Favorite!



身近な社会の問題を考える

2019年4月、東京・池袋で高齢ドライバーによる大事故がありました。このような事故が起きたたび、認知、身体能力が衰える高齢者は運転免許の返納を義務化すべし、という論議が持ち上がります。でも、運転できなければたちまち日常生活に困る高齢者もいます。この主張に賛成、反対双方の立場から討論（ディベート）の基礎となる教材を学生らと考え、新しい高校教科書の内容に発展させられないか検討しています。皆さんの考えはどうですか？

私は「主権者教育」はどうあるのが良いか、を研究しています。平成28年の参院議員選挙で「18歳投票」が始まって以来、注目されているテーマです。若い世代ほど投票率が低いことなど、社会や政治に無関心な若者への対策として期待されるからです。しかし、投票を促すだけが主権者教育ではありません。先に紹介した高齢者の免許返納義務化など、身近な社会の問題も主権者教育のテーマだと考えています。

見方・考え方を認め合う

免許返納問題は、交通機関の発達した都会では賛成が多そうで、車がないと不便な過疎地は反対が大半でしょう。双方、見方や考え方を認め合った上で議論する。どちらかを一方的に「正解」とするのではなく、困る人を救う仕組みも考え、折り合いを付けなければいけません。これを「地域間の公正」を考える問題と呼んでいます。



学生の課題が高校教科書のモデル案になりました。

さらに私が研究を進めているテーマに、地球温暖化の問題があります。今の世代の所業が気候変動などで後の世代に影響する「世代間の公正」の問題でもあり、当事者が話し合える地域間公正より難しい。この問題でも、どんな対策を探るべきか立場に分かれて討論する基礎資料を研究していく、講義では討論の実習をしています。

違う意見にも十分、耳を傾け、自分の意見を論理的に展開する訓練を重ねることが、社会的・政治的な問題を考える力を養います。それが主権者教育だと指導しています。

従来、見えなかった 病変も診断

高エネルギー医学研究センターは、放射線の平和利用を目的に、画像診断や病気治療の研究に活用する施設です。近年、PET/MRIという画像診断装置を導入し、従来は見えなかった病変やがんの転移も発見できるようになりました。

PET/MRIは、陽電子放出断層撮影（PET）と磁気共鳴（MRI）という、もともと異なる原理の画像撮影を同時に行うもので、2015年の導入時に国内3台目、現在でも十数台しかない最先端の診断装置です。PETは病変部に起こっている異常な働きを検出し、MRIでは体の器官・組織の様子を撮影しますが、PET/MRIでは2つを重ねるので、脳の診断に使うと、詳細な画像により認知症を起こす異常物質の蓄積や脳内環境変化の発見に力を発揮します。

認知症の根本原因に迫る

代表的な認知症、アルツハイマー病では脳にアミロイドベータ（A β ）、続いてタウタンパク質という物質が異常に蓄積する経過が知られていますが、そのほかに、脳細胞で酸化作用が過剰に起こる酸化ストレスが早期から関わっている可能性が高いという説もあります。現在、PET/MRIを活用して、認知症初期の症例を集め、アミロイド集積や脳内酸化ストレス部位を比較する研究により、認知症発症の仕組みを解明することを目指しています。A β が原因であることは知られていますが、実は酸化ストレスの蓄積の方が、A β より上流の原因となっている可能性もあると考えています。そうなると酸化ストレスを防ぐ、新たな認知症予防法や治療法がわかるかもしれません。もう一つの異常物質、タウをめぐってもカナダの大学と共同研究を来年度から行う予定です。タウはアルツハイマー病以外の認知症にも関係します。国際的に多くの症例を究明することにより、さらに認知症の仕組みに迫りたいと思います。

異常物質が睡眠中に排出されるという研究成果を読んだことがあります。いつか、睡眠のコントロールで認知症を治す研究にも取り組んでみたいと夢見ています。

先進の画像診断 認知症の解明を目指す

岡沢秀彦

OKAZAWA Hidehiko

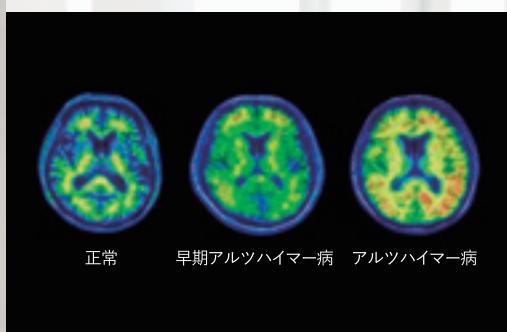
高エネルギー医学研究センター 教授

(生体機能解析学)



Profile

1961年、長野県生まれ。1996年、京都大学大学院医学研究科博士課程修了、医学博士。カナダ・モントリオール脳神経学研究所研究員。1999年、滋賀県立成人病センター専門研究員。2003年1月、福井医科大学高エネルギー医学研究センター助教授、同年10月、福井大学同センター助教授、2006年、同センター教授、2010年、同センター長併任。



アミロイド集積を示す脳画像、進行するに従い集積が増加(左→右)



カナダで研究していた頃、モントリオールの名物、ベーグルのおいしさに驚きました。独特のもちもちした食感に豊かな風味でクリームチーズとバターがぴったり。訪問するたびにまとめ買いしてきます。

失った草原を取り戻す 土木を超えた挑戦

寺崎 寛章

TERASAKI Hiroaki
工学部 助教(水文学、環境水理学)



Profile

1983年、石川県生まれ。2011年、福井大学院工学研究科システム設計工学専攻博士後期課程修了。2013年から同大学院工学研究科特命助教、2015年4~9月にブトラ大学マレーシア(UPM)客員研究員を兼任。2016年12月、福井大学工学部建築・都市環境工学科助教として着任。

It's My Favorite!



ロードバイクで一人旅。名古屋からのんびり12時間かけて福井に帰ってきたことも。自分を見つめ直す良い機会になり、自動車や電車とも違う風景を感じられるのはとても新鮮。

“土木”の枠にとらわれない

私の専門は土木工学ですが、英語では「Civil Engineering」で「市民の」という意味を含みます。恩師からは市民のためになる結果を生むのであれば、いわゆる“土木”的道路や河川、上下水道などの枠から外れてもいい、そう教えられました。土木工学のなかでも、地球上の水の循環に関する分野「水文学」を使い、主にアラブ首長国連邦における砂漠の水文観測や緑化技術の開発、バングラデシュ僻地での淡水化装置による飲み水支援、インド農村部の大気汚染調査と健康影響評価などに関わってきました。どれも一般的な土木技術者が関わることは少ないので、住民の生活に真に必要とされています。

草原の復活に向けた プロジェクト

今年はモンゴルで「砂漠の緑化」をテーマに土壤の早期修復と草原の回復に向けたプロジェクトを立ち上げました。モンゴルというと大草原をイメージされがちですが、ウランバートルから北へ約500km離れたムルンでは、近年、世界的にカシミヤの需要が高まり、過放牧による砂漠化が進行しています。山羊は根まで牧草を食べるため、牧草が育たず、土壤が劣化し、さらには、砂塵による健康影響も懸念されています。

現地では、水文学の一つである、地表面からの蒸発量と土壤浸透の観測から始めました。そこから日本で土砂災害防止などに用いられるのり面の緑化工法をモンゴル版にアレンジし、現地で調達できる羊毛にフルボ酸という土壤改良材を組み合わせた緑化資材を試作しています。



また、スーパーフード市場も視野に、有用作物の栽培の実証実験も行っています。持続可能なプロジェクトにするためには現地住民はもちろんのこと、農業技術者、さらには健康影響や予防医学の観点から医学系の先生と協力し、垣根を越えたチームワークが不可欠です。フィールドワークは過酷ですが、住民や子ども達の喜ぶ顔を見ると達成感が溢れます。決して簡単ではありませんが、後世に大草原を残せるよう、挑戦していきます。

会計学のおもしろさ

会計学を学んだのは崇高な目標があったわけではなく、サラリーマンに向かない性格と金儲けができるかもしれないと思ったからです。ところが卒業研究で、水道事業者などが年々減少するモノの価値を見積る「減価償却」に着目したところ、目に見える価値の増減が無いために、減価償却を低く見積もる会計操作をしていました。減価償却が少なければ公共料金も安くなりますが、これは未来に費用の付けを回すだけです。この経験から、会計学の力で社会における様々な問題を分析し、何か提言ができるのではないかと思い、研究者になりました。

減価償却・減損と会計操作

減価償却は毎年の減少を見積もりますが、投資の失敗など価値が減少する兆候が見られる時に行う「減損」という会計処理があります。減損は減価償却の会計操作を抑制するのですが、多くの日本の会社では毎年のように減損処理を行っています。不思議に思い決算報告を調べると儲かっている時には多めに減損を出しています。減損を用いてまで会計操作を行っている。「頭の良い人」の数値を整えたいという欲望は止められません。私はこのような会計操作を検知する方法を模索しました。

自己組織化写像（SOM）をその検知ツールとして用いることを試みています。最初は会計操作している企業が特定の位置にはまるようにしてみたのですが、うまく検知できません。ある粉飾事件がきっかけで、景気の変動や業績の変化で企業が適宜マップ上の位置を移動するようになりました（図1）。この図では、T社だけはマップ上で同じ位置にあります。T社が業績を維持しようと粉飾したのがその原因です。本来移動するはずなのに動かない企業は会計操作している可能性がある、というわけです。現在、色々なケースでSOMによる検知能力を試しています。今後はこれを活用し、正しく会計報告がされる社会に繋がればと願っています。



1

会計操作を見抜き 社会をよくする システム作り

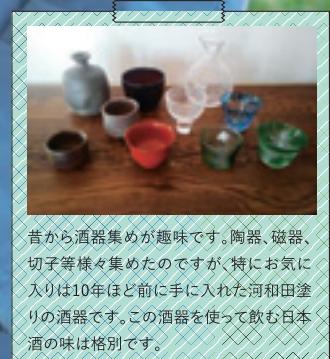
國崎英一

OKAZAKI Hideichi
国際地域学部 教授(会計学)



Profile

1959年、鳥取県生まれ。1991年、明治大学
大学院経営学研究科博士後期課程中退。
1991年、福井大学教育学部助教授、1999
年、同大学地域科学部助教授、2003
年、同学部教授、2016年、同大国際地域学
部教授となる。



昔から酒器集めが趣味です。陶器、磁器、切子等様々集めたのですが、特にお気に入りは10年ほど前に手に入れた河和田塗りの酒器です。この酒器を使って飲む日本酒の味は格別です。

Fukudai ACE

輝くエースたちにクローズアップ!



DANCE

2000年創部以来の 悲願を達成

よさこいサークル よっしゃこい

8月3日に、福井市内で開催された「べんたワイワイ夏まつり」に、よさこいサークル「よっしゃこい」が出場し創部初の大賞、7月28日に行われた「はるえイッショライでんすけまつり」でも大賞を受賞しました。

「よっしゃこい」はよさこいを演舞する団体で、総勢62名。福井で開催される3つの祭「はるえイッショライでんすけまつり」、「べんたワイワイ夏まつり」、「フェニックスまつり」のすべてでトップに立つ三冠を目指し、毎週最低2回2時間の練習は欠かさず行っています。

「はるえイッショライでんすけまつり」は昨年、台風により祭りが中止になったため、2年ぶりの開催。メンバーは、晴れ舞台に立てなかつた先輩



たちの悔しさもエネルギーに変え、圧巻の演舞を披露することができました。

そして県内の強豪25チームが競う「べんたワイワイ夏まつり」の大賞は創部以来の悲願! 大賞のチームだけが踊れる特設ステージで、メンバー全員で頂点に立った嬉しさをかみしめながら演舞しました。

今回は惜しくも二冠となりましたが、次は、必ず三冠!という明確な目標ができました。新代表の河合真志さんは「よさこいを極めるだけではなく、メンバー一人ひとりの成長につながるチームを作っていくたい」と話し、笑顔満開、エネルギー的に磨きをかけていきます。

アニメ制作の講師 ものづくりの楽しさを伝える

大学院教育学研究科1年 齊藤 はるかさん

9月23日に、「スマホをかまえて親子で体験! 手描きアニメーションを作ろう」のワークショップを福井市の田原町ミューズで開催し、講師を務めました。

参加した7家族9名は、NHK朝ドラ「なつぞら」でおなじみになった「ライトテーブル」を100円均一のグッズで制作した後、キャラクターやりんご、栗のイラストを描き、1枚ずつスマートフォンアプリで撮影すると、パラパラマンガのようなアニメーションが出来上がりました。参加者のなかには60コマの大作に取り組んだ親子もいました。

齊藤さんは、手描き原画によるアニメーションに取り組んでおり、CGやセル画でアニメを制作する時代の子どもたちに「ライトテーブル」がなぜ必要かを伝えすることが難しかったそうです。



EVENT

昨年、齊藤さんが制作したアニメーションの卒業作品「穴」の原画を見た、アート情報の発信・支援をする福井市のアートプロジェクト「芸術専門楽群」が主催しました。



SPORTS

結束力で勝ち取った3連覇！

医学部水泳部

8月16日から3日間、大阪市内で開催された第71回西日本医科学生総合体育大会水泳競技部門で、医学部水泳部女子が総合3連覇を達成しました。

大会は、リレーと各個人種目の8位までを入賞とし、総合は成績順に得点が加点されて決まります。レース前の1ヶ月は毎朝6時から1時間の朝練に加え、スピードを上げるための練習を重点的に行いました。全力を尽くそうと臨んだ本番、選手は持てる力を発揮し、400mフリーリレーでは大会新で堂々の1位。多数が上位入賞を果たし、総合優勝を手にしました。

水泳部は男女合わせて66名の大所帯。男子は結果を残せませんでしたが、女子部員は「女子だけ頑張ったと言われるのは心外です。男子が頑張っているから、私たちも刺激をうけて頑張りました。レース直前はプレッシャーで不安になるけれど、みんなの応援が何よりの力になりました」と激戦を振り返りました。強さの秘訣は、「結束力」。次の試合もチームで切磋琢磨して臨みます。



PROJECT

12年目の伝統を引き継いだ

「キャンパスイルミネーション2019」

灯りプロジェクト

いつものキャンパスが幻想的な空間に変わるキャンパスイルミネーションが10月16日から開催されました。今年のテーマは花と植物を光で表現する「Garden」。庭を愛するのは日中しかできませんが、夜にも楽しめるガーデンを創りたいと、光で花と植物を表現しました。見る人を飽きさせない変化、風に揺れる光、やわらかな光で咲き誇る960本の花々をメンバー28人で制作しました。また、病棟で1日を過ごしている患者さんにも楽しんでもらいたいと医学部附属病院A棟1階のアメニティホールや3階の談話室から見える屋上にも設置しました。今年は、手をかざすと光の色が変わったり、点滅するセンサーを工夫しました。代表の杉本隼八さんは「学生だけではなく、地域の子どもから大人まで、幅広い年齢の方々に楽しんでいただけるようなイルミネーションを創りあげました」と話し、見る人を楽しませる空間づくりを心掛けました。



ホッケーで国体7年連続出場

福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科2年
桑原 寿々奈さん

9月28日から開催の「いきいき茨城ゆめ国体2019」に成年女子ホッケー選手として出場。高校2年生で少年女子の部に出場して以来、昨年の福井国体を含め毎年選出され、7回目の国体です。現在、福井クラブに所属し、教育学部附属義務教育学校前期課程でのインターン後、週3回の練習に参加、県選抜中学女子チームのコーチも務めています。

ホッケーは1チーム11人で、スティックを使ってドリブルやパスをして、相手ゴールにボールを入れて得点を競う競技。桑原さんのポジションは右サイドディフェンダー(DF)です。「ボールのスピードは時速100km以上、助け合いながらパスを繋ぎスピーディーな試合展開がホッケーの魅力。将来は、学校の先生になって、小学生にホッケーの楽しさを伝えたい」と語りました。



全国医歯薬学生相撲選手権大会で優勝！

医学部医学科5年 木下 智貴さん

7月7日、第66回全国医歯薬学生相撲選手権大会が東京慈恵会医科大学で行われ、個人戦で優勝しました。

大相撲に憧れ、相撲を始めたのは6歳。中学生の時にはスクウトもされました。自身の体格は難しいと感じ、力士への道を断念し医学の道へ。大会は声がかかり急遽出場、1週間前から体を上げ、久しぶりの取組となりました。3年ぶりでも身体が動きを覚えていて、力まずに取組ができ自然に勝てたと話してくれました。

大会後には、他大学から稽古をつけて欲しいとオファーがくるほど印象を残したようです。今後の大会でも活躍が楽しみです。



SPORTS



VOLUNTEER

被災地の子どもたちの今を支援するボランティア活動に参加
国際地域学部 国際地域学科2年
川嶋 祐希さん
中垣 蒼さん

8月9日から11日の3日間、途上国などの住まいの問題を取り組むNPO法人「ハビタット・フォー・ヒューマニティー・ジャパン」学生支部の活動に参加しました。熊本県西原村のたんぽぽハウスが運営する子ども食堂で、「子供の森」を整備するボランティア活動では、現地の人との交流を通じて、「居場所を作る」ことが支援になると気づかされたそうです。二人はこの経験を活かし、「ハビタットの海外での住居支援だけでなく、災害時のコミュニティ作りにも挑戦したい」と話し、新たな活動に向けて意欲をのぞかせました。



HI-SAC

福井大学
産学官
連携本部

Headquarters for Innovative Society-Academia Cooperation

繊維の世界

多彩な分野で活躍する新しい素材へ

霧のように見えますが、今、世界中で様々な研究開発が進められている素材。再生医療の本命、iPS細胞（人工多能性幹細胞）が、体の臓器や組織に培養するための「足場」になるものを目指し、生糸をナノファイバーにしているところです。産学官の連携や地域との協働活動をまとめたため、本学に今年度、発足した「繊維・マテリアル研究センター」で開発研究を予定するテーマの一つです。

iPS細胞は、どんな臓器や組織にもなれる潜在能力がありますが、医療に使うには実際に臓器などの構造、形になったものに培養しなければいけません。臓器は本来、立体的なものですが、世界的にも実用化の見通しが立っているのはまだ平面状。そこから立体的なもの、例えば血管なら少なくとも管状の形にしていくためにiPS細胞が

増殖する足場の素材がカギとなる訳です。繊維・マテリアル研究センターの山下義裕教授は、本学の強みの繊維研究を背景に、日本古来の繊維「絹」の元となるタンパク質から足場の素材を作る革新的な研究を目指しています。

山下教授の研究構想には、さらにウレタンのナノファイバー技術を応用しインフルエンザウイルスやPM2.5など微細な粒子を留める機能と通気性を両立したマスク素材の開発、炭素繊維を素材として一步進んだシートなどへ製品化するプリプレグ技術の開発、導電性繊維のさらなる応用といった柱があります。

福井大で始まる、新しい繊維とマテリアルの世界に乞うご期待です。

FUKUDAI

福大FB

いいね!

トップ1

本学の就職率が
国立大学12年連続「第1位」
となりました

12
連覇!



2018年度卒業・修了者の全国大学実就職率ランキング（大学通信調査）が、「サンデー毎日」（2019年8月4日号）で発表され、97.0%の本学は、複数学部を有する卒業生1,000人以上の国立大学で12年連続1位を達成しました。全国平均89.1%を大きく上回っています。

この10年間、リーマンショック後の就職氷河期から現在のバブル期超えの売り手市場まで学生を取り巻く就職環境は変わっても、一貫して学生サイドに立ち、愚直できめ細かい就職支援を行っていることが、高い就職率の維持に寄与していると考えています。さらに、卒業3年以内の離職率が非常に低いことは、就職後に活躍している卒業生が多い証です。

※実就職率算出方法：就職者数÷[卒業（修了）者数-大学院進学者数]×100

イベント

「福井大学きてみてフェア2019」を開催

10月20日に、文京キャンパスで「福井大学きてみてフェア2019」を開催しました。福井大学の教育や研究、学生の活動を地域住民に広く知ってもらうことを目的に毎年開催しており、今年度は教職員約110名、学生約140名が37企画を実施し、1,600名が来場しました。



電子オルゴールの製作、ガラスとのふれあいの工作などは例年通りの人気で、事前予約で既に満席になっていたほか、化学や物理の実験や留学生らと英語のゲームをする企画を通じて大学生との交流を楽しんでもらいました。本学と包括的連携協定を結ぶ県内9自治体も「福井大学と自治体のコラボレーション」コーナーに出展。各地の伝統工芸の展示や販売、観光地の紹介も。今回初めて、松岡キャンパス（医学部）から参加があり、外科医体験などのコーナーもあり賑わっていました。

親子連れを中心に来場者が朝早くから詰めかけ、「今年は医学部のコーナーもあり、充実していた」、「興味がもてるような企画や驚きもあり、楽しく参加できた」などの感想が寄せられました。本学では、大学に親しみを感じてもらえる様なイベントを今後も継続的に実施していきます。



新しい技術開発やものづくり、サービスを始めるときなど、大学の知識や施設、人材を活用してみませんか。企業だけ、大学だけでは解決できなかった問題や課題も産学で連携することで、始まる展開があります。

福井大学のコンシェルジュは企業様の困りごとをうかがって、大学が保持する技術、情報そしてネットワークづくりを通して解決のお手伝いをします。新しい研究開発には多額の費用が必要になりますが、企業と大学が連携することで、国や県などの助成金制度が活用できるケースやメンテナンスや設備として所持することが難しい分析装置を安価に使用できる場合もあります。

大学は多くの研究領域や研究者が所属しており、「こんなことをしたいけど、大学の一体どこに相談したら良いのだろう?」という場合は、まずはコンシェルジュにご相談ください。企業の皆様との出会いから、新しい展開をしていきたい! そんな意気込みのあるコンシェルジュが常駐しています。

お問い合わせ	Tel:090-1635-1000 Mail:concierge@hisac.u-fukui.ac.jp	※通話は電話応対の品質向上のため録音させていただきます。
--------	---	------------------------------

技術開発のお困りごとはこちらに コンシェルジュが誕生



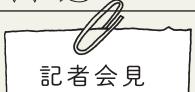
こんにちは!今まで知的財産の保護、活用の話をしました。今回はAIにより生まれた知的財産は誰のもの?です。

知的財産の所有者が誰か?とは財産の所有者を決めることで、「成果物の帰属問題」と言い開発業務契約などでは重要事項です。原則、知的財産の所有者はそれを成した自然人。一方、AIが小説、音楽、キャラクター等の著作物、さらには新物質の提案など価値ある知的財産を生む時代になりつつある。ところが実際にそれらの価値を生んだのはAIなのに自然人ではないために所有者になれない。ではAIに関係した自然人とするとAIを作った人、AIに処理をさせた人が所有者でしょうか?

実はこの状況に現在の社会、法律が追いつけていないので喫緊の課題になっています。でも突き詰めるところの課題はAI時代における人類の存在価値は何か?という問いに答えることでよろしく。



NEWS 広報課が選んだ ふくだいニュース



ICTが実現する臨床実習改革 ～地方大学発ベンチャーの挑戦 F.CESS

9月9日、文部科学省にて、本医学部が共同開発している教育システム「F.CESS（エフ・セス）」について「ICTが実現する臨床実習改革～地方大学発ベンチャーの挑戦」と題し、記者発表しました。

内木宏延医学部長、安倍博医学部附属教育支援センター長、田中雅人医学部附属教育支援センター客員准教授、（株）日本医学教育技術研究所代表が発表に臨みました。

最初に、内木医学部長が「今回の発表タイトルにあるように日本の医学教育を変えるという意気込みで臨みたい」と挨拶、続いて安倍附属教育支援センター長が視覚的な資料をふんだんに用いて説明しました。

F.CESS エフ・セス（商標登録、特許出願中）は、医学教育の喫緊の課題である国際標準への準拠に向けた改革を行うため、教員が臨床実習の現場にマッチングした教育システムを考案したところからスタートし、大学発ベンチャー、産学による共同開発へと発展し、製品化を実現しました。

すでに本システムの原型を稼働させている本学医学部では、文書管理を中心の旧態依然の実習では得られない多くのメリットを生み、医学教育の質を担保することに繋がっています。



4月に北陸初の専門職大学院を新設 教育、工学の大学院も改編

令和2年4月に北陸3県初の専門職大学院（法科大学院と教職大学院を除く）を設置し、また学校教育や産業界を牽引する人材の育成を目的に、既存の教育、工学の大学院も組織改編します。

新設する専門職大学院「国際地域マネジメント研究科」は、地域のグローバル化が進行する中、企業や自治体が抱える諸課題の解決に挑戦する優れたマネジメント・リーダーの育成が目的。教育課程に海外実地研修が組み込まれます。

福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科（連合教職大学院）は、現在の教育学研究科修士課程を連合教職大学院に一本化し、実践型教員養成機能を強化します。大学院工学研究科博士前期課程では、10専攻から3専攻に組織を再編。スペシャリスト、ジェネラリスト両方を兼ね備えるための幅広い知識と俯瞰的視野を持つ人材養成のための教育体制を構築していきます。

地方創生に資する大学改革【大学院の新設、強化】

国際地域マネジメント研究科	(入学定員 7人)
福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科	(入学定員 60人)
産業創成工学専攻(入学定員 85人)	▶▶▶ ものづくり
安全社会基盤工学専攻(入学定員 84人)	▶▶▶ 社会インフラ
知識社会基礎工学専攻(入学定員 84人)	▶▶▶ 情報化社会基盤

福井大学生協の 知られざる魅力を探る!

勉強やバイトで自炊の時間がない…今月は遊びすぎてお金がギリギリ…それでも毎日お腹は空く、人間だもの。

まだまだ育ち盛りの大学生! “食”はとても大切ですよね。

そんな学生の強い味方、大学生協。日ごろからお世話になっている人も多いのではないでしょうか?

私たちの大学生活になくてはならない生協の、知られざる魅力を探ります!



福大生がとり憑かれているリピ商品!

毎日賑わいの絶えない福井大の生協販売。福大生はどんな商品を好んでいるのか、取材してきました!



丼部門 ★ 第1位

鶏竜田の 甘辛丼

手ごろな価格と確かな食べ応えが学生たちの胃袋をつかんで離さない、安定の甘辛丼。鶏竜田チリ丼とねぎだく塩だれ鶏竜田丼も並べ売り切れ間違なし!まだ食べていない人は是非ご賞味あれ。



モンスターにお世話になっている学生は多いのではないでしょうか。モンスターにはいろいろな種類がありますが、皆さんはどうが好きですか? ちなみにこの文の筆者はレッドブル派です。

テスト期間 ★ 第1位

MONSTER ENERGY



5つある生協オリジナルティーの中でも、第2位のウーチャンを突き放して堂々の第1位は、やっぱりブーちゃん。ちなみに、ワーストはコーちゃんでした…たまには紅茶も飲んであげてください…。

ベスト オブ ★ 生協ドリンク

ブーちゃん(緑茶)

デザート部門 ★ 第1位

大きなツインシュー

毎日の講義、レポート、講義、レポート…。そんな疲労困憊の福大生を癒してくれる大きなツインシュー。2019年の4月から8月までの4か月間で売れた数なんと1669個。食べすぎにはご用心。





新魅力発見!! 福大生考案 裏メニュー

学生広報スタッフが発見!
文京キャンパスの食堂マスター★

secret menu

01

ネバトロ丼



巣ごもり×納豆×ライス

1年生にして食堂を使いこなす者を発見。選ばれたのは大人気の巣ごもり、そして…納豆?

「これでQOL爆上がり」おもむろに納豆をかき混ぜ、ライス（Mサイズ）にオン。その上に巣ごもりを…!

得意げな表情でオリジナル丼を頬張る姿に我慢できず、一口頂くことに。なんということだ。ご飯に絡む濃厚半熟卵に、負けず劣らない納豆の存在感。野菜があるので食べやすい。

全ての食材が必要不可欠な、完成された丼だ。

私が考えました★



工学部 電気電子情報工学科1年
加藤 匠真さん

全員集合!

松岡Cの学生もいらっしゃーい!
生協イベントはよ来ねや!

本読みねや!

食堂、購買だけじゃない!
知る人ぞ知る、半年に一度の生協名物イベント

ブックコレクション

ブックコレクションは、ただの“おすすめ本の紹介企画”ではありません!

本の書評紹介×サークルや研究のPR×投票対決を織り交ぜた企画です。福大を盛り上げたい有志によって立ち上げられた半年に一度の祭り。参加者、優勝者には書店で使える特典もあります。部活・サークルや研究室、友達同士での参加大募集! 教員の方々も参加できます。詳しくは、文京Cのブックショップ明日輪まで!!

勝手に

Secret menu



食堂マスターの加藤匠真さんに刺激を受けて

私たち学生広報スタッフもオリジナルメニュー作りにチャレンジしました!

secret menu

02

野田のせこい飯



カレーライス×かき揚げうどん

愛知出身の野田はソウルフードのカレーうどんが食べたい。しかしメニューにあるのはカレーライスとかき揚げうどんだけ…。

そうだ!カレーライスとかき揚げうどんを注文し、ルーとかき揚げを交換しよう! そうすれば、かき揚げ丼とカレーうどんの完成だ!なんとピースフルなアイディアだろうか。「想像以上にカレーうどんが再現されている」と野田。竹本はかき揚げにソースをかけて天丼に、新感覚を楽しんだ。

私たちが考えました★



【学生広報スタッフ文京班】
工学部 物質・生命化学科2年 国際地域学部 国際地域学科2年
野田 航希さん 竹本 和也さん

secret menu

03

柳's kitchen おかわり飯



ササミチーズカツタルタルソース
×納豆×ライス×ミニサラダ

松岡の隠れた名店、柳's kitchenオープンです!本日のメニューは納豆×ササミチーズカツという一見異様な組み合わせ。カツの下にサラダを敷くことで栄養&映えを狙える一品。ポイントは、カツについてくるタルタルソースを納豆に入れてよく混ぜること。これを食べればきっとみんなこう言うだろう、“意外とイケる”。コスパ、栄養、映え、意外性の四拍子が揃った花まるメニュー、ぜひお試しあれ!

私たちが考えました★



【学生広報スタッフ松岡班】
医学部 看護学科2年 医学部 医学科2年
北出 めぐさん 柳下 敬祐さん

3時のおやつに来ねや!

文京Cの学生食堂「味菜」は、14時半から、ポテトの詰め放題やアメリカンドッグなどで私たちの小腹を満たしてくれています!

なんと!私たち学生広報スタッフも、令和2年の冬にぴったりな企画を考えます。お楽しみに!おでんとか良いですよね♪





CIRCLE No.07

文京キャンパス

福井大学
フォーミュラカー
製作プロジェクト
FRC

静岡県で毎年開催される「学生フォーミュラ日本大会」に向けて渾身の1台を製作するサークルです。今年の車両コンセプトは「evolution」。2018年からさらに進化させようと総勢25名で創りあげました。メンバーは機械・システム工学科の所属が多いですが、大会ではプレゼンの審査もあり、マネジメント力も評価されます。だから、文系の学部生は大歓迎！ 今年は昨年の総合14位を上回ることはできず27位となりましたが、プレゼンは10位と好成績を残しました。日々の活動で知識や技術が身についていくことが手に取るようにわかり、車両が出来上がる同時に仲間との絆も深まります。もちろん、つまずく時もあるけれど、カッコイイ自分に出会えるかも！？



It's my CIRCLE

福大生の半数以上が、クラブやサークルに所属しています。

学内のクラブやサークルは、体育系・文化系あわせて120近く。

有名だったり、意外と知られていないかったり……どんな活動をしているのか、ちょっと覗いてみました。

『It's My CIRCLE』に

登場したい

サークルのみなさんは

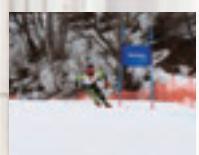
広報課までご連絡ください。

【E-mail】

sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

CIRCLE No.08

松岡キャンパス

医学部
競技スキー部

ただのスキー部ではない、“競技”スキー部。競技というからは、100分の1秒を争うアルペン種目、上り下り起伏に富んだ長距離コースを走るクロスカントリー。スピード、持久力、集中力に磨きをかけ、雪上の闘いに挑みます。

長野県で毎年開催される西日本医学生体育大会 冬季大会に向けて、大会1週間前は大会開催地で5日間の合宿で最後の仕上げを行い、本番に備えます。もちろん、オフシーズンもオンラインスケートや陸上トレーニングで筋力や持久力を鍛えることも怠りません。他大学との合同合宿も楽しみの一つです。

初心者も大歓迎！ 雪国に来たんだから、とにかく雪山へGo!!



音楽と真摯に向き合った大学時代。 専門性を高めたことが 教師としての自信に



音楽を楽しむ心が導いてくれた教師としての指針

私は音楽の楽しさを教えてくれたのは中学校で出会った吹奏楽部顧問の先生です。音楽に対する厳しい指導の中にも愛情を感じられ、また、礼儀や気遣いなど人として大切なことも教わりました。その先生に憧れ、私も音楽教師の道を選びました。

大学卒業後の初任校が、ここ富崎中学校。生徒数は全学年合わせても90人前後的小規模校です。赴任後すぐに吹奏楽部の顧問になりましたが、当初はいくらくらい練習してもコンクールで結果を出せず悩みました。3年目くらいからでしょか、教えるというより、生徒の力に限界をつくらず、一緒に音楽を追究していくことを大切にできるようになると、演奏全体の完成度も高くなっていました。2018年の福井県吹奏楽コンクールでは金賞を受賞し、県の代表として、北陸大会に出場しました。本校にとつては27年ぶりのことです。これは吹奏楽部全員で勝ち取った名誉だと思っています。指導者として生徒と同じ舞台に立ち、音楽を作り上げられるのは音楽教師の特権です。

通常の授業では3学年全員の音楽を受け持っています。「楽譜が読めない」「楽器がうまく演奏できない」といった音楽が嫌いになってしまいう要素を一緒に解決し、まさに音を楽しんでもらえる授業構成を心掛けています。3年間持ち上がり添えることがやりがいです。

大学時代を振り返ると、音楽に没頭

した日々でした。実技の練習や楽譜の分析、自分が作った曲をプロに演奏してもらう機会などもありました。多様な音楽観に触れさせていただき、音楽について考える力を高められたという実感があり、指導してくださった先生方に感謝しています。当時、音楽科の同級生は私を含めて6人で、みんな個性派揃い。先生たちはそんな私たち一人ひとりと向き合って、良いところをのばしてくれました。先生や学友、プロの演奏家との出会いがあり、音楽的にも人間的にも視野が広がった4年間でした。その経験は、生徒の持ち味を生かしながら育てるという、指導する上で私が大切にしたいことにつながっていると思います。在学中の後輩の皆さんには、「ぜひ学生時代に自分の音楽を追求してほしいです。4年間で音楽の専門性を高められれば、それが教師になつてから必ず生きてくると思います。」これからも「音楽を楽しむ心」を生徒たちに伝え続けたい。また、授業や部活動を通して身近な芸術を楽しむ豊かな心を育んでもらいたい。芸術にふれる機会は生涯においてずっとあるはずです。

顧問を務める吹奏楽部がコンクールで金賞を受賞し、北陸大会へ



大学の卒業記念演奏会。フォーマルなドレスに身を包み、演奏を披露した晴れ舞台です。



大学時代に開催したミニコンサート。個性派揃いの学生们が、一致団結。みんなでひとつのステージを作り上げる楽しさを教え子たちにも味わってもらいたいです。

My memories



大学の卒業記念演奏会。フォーマルなドレスに身を包み、演奏を披露した晴れ舞台です。



大学時代に開催したミニコンサート。個性派揃いの学生们が、一致団結。みんなでひとつのステージを作り上げる楽しさを教え子たちにも味わってもらいたいです。

学長の思い出箱

Open My memory box



BOX No.
02

大先達の小箱

（日野原重明先生の思い出）



日野原重明先生については存命中、聖路加国際病院の理事長として、医療を中心とした様々な活動でご存知の方も多いと思う。私も同じ大学に学んだ内科の大先輩として、何度もお話しする機会があり、印象に残つたいくつかを紹介したい。

先生は福井でも講演されたことがあるが、日ごろから講演会の回数たるや並大抵ではなかつた。そのことを忙しくて大変だとは言われない。

「僕の手帳の予定表はいつも3年後まで、ぎつしりだ。だからいつも3年先まで死ねない」と、微笑みながらおっしゃっていた。

私が医学部長だった時、医学部の30周年記念事業を行うこととなり、記念講演のリクエストは日野原先生が多数であった。打診したところ、案の定、他にご予定が入っていた。

そこで、記念の新聞特集にインタビュー記事を掲載させていただくこととなり、事務局のSさん、新聞記者の方と私で、聖路加国際病院の理事長室に伺った。

お約束していた日、先生が親しくされていた患者さんがたまたま他界し、追悼のミサに出席されたため、しばらくお待ちした。戻って来られると、部屋の奥でネクタイを交換しながら、問わず語りに現在の医療の動向などをめぐり淀むことなく語り始められた。

それほど話題の豊富でない私としては有難い展開であった。しかし、インタビューの途中で内心、困つたことになつたと思つた。お話を途切れないので、質問できぬまま予定の1時間のうち40分になろうとしていたのである。

そこで、よく注意してお話をお聞きし、ところどころで一瞬の短休止を設けられることに気が付いた。実はその時に息継ぎをなさつていたのである。私は息継ぎをされている時を捉えて、間髪入れずいくつかの質問を行い、無事インタビュー記事に仕上げることができた。

その後のある会合では、先生は100歳を超えておられたと思うが、車椅子でお越しになつた。加齢による心臓弁膜症らしいとお聞きした。

海外でダンスもされるなどアクティブな方なので、さぞ気落ちしておられるのではと心配していたら、違つた。スピーチの開口一番、「僕は最近、車椅子を使ってます。いやー車椅子がこんなに便利なものだとは思わなかつた。こんなことならもつと前から使えばよかつた」とおっしゃつた。何に対しても優れたところをまず評価される、あくまでも前向きな姿勢に改めて感銘を受けた次第である。

学長 上田孝典

福井大学基金

学生の皆さんへの修学支援と地域の発展のため、
福井大学基金へ多くのご厚意が寄せられています。
ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

【福井大学基金の寄附状況】

寄附申込数 3,390件(延べ数) 寄附金総額 2億3,819万3,191円

令和元年7月1日から令和元年10月15日までの寄附者ご芳名(五十音順)

個人

青木 重之 様	窪田 昭一 様	丹羽 憲司 様	吉田 実雄 様
青木 直美 様	窪田真由美 様	野杣 武男 様	吉田 剛 様
青山 庸 様	郡 喜美男 様	野尻 悅嗣 様	吉光 克弘 様
明石 行生 様	児嶋美恵子 様	野尻 哲郎 様	渡辺 信雄 様
赤松 善弘 様	小谷 淳一 様	野村 豊和 様	機械系学科
浅田 勝彦 様	小林 勝幸 様	橋本 正圓 様	昭和43年入学生
有田 孝一 様	坂井 博昭 様	早見 宏之 様	有志の皆様
石田 久哉 様	笹木 俊男 様	久 武利 様	【機械工学科】
石田 泰広 様	澤田 幸 様	平井 康夫 様	市川 直樹 様
磯崎 修治 様	芝 健治 様	平林 俊 様	植村 悟 様
一色 八郎 様	柴田 裕司 様	藤尾 繁郎 様	加藤 幹夫 様
稻葉 清志 様	清水 啓司 様	藤岡 徹 様	笹井 敏男 様
井上 彪 様	清水 史子 様	藤沢 弘一 様	中島 康夫 様
井上 真一 様	清水 則明 様	藤田 厚 様	林 英夫 様
井上 拓也 様	新野 秀志 様	布施 英憲 様	三上 隆男 様
今井 肇 様	砂田 浩輔 様	船木 純一 様	横井 利幸 様
上嶋 俊義 様	瀬尾 崇 様	堀 照夫 様	【産業機械工学科】
上田 晃嗣 様	関川はるみ 様	堀川 貞雄 様	青山 博喜 様
上田 孝典 様	相馬 武雄 様	松浦 宏 様	足立 明信 様
植田 豊喜 様	園田 哲司 様	松木伸太郎 様	石田外茂二 様
上中 憲吉 様	高塚 亮三 様	松田 一夫 様	岩井 善郎 様
宇隨 幸雄 様	高橋 久和 様	松峯 昭彦 様	甲藤 修 様
梅垣 健二 様	滝口 治和 様	松本 隆 様	川口 正樹 様
大澤 達雄 様	多田 和博 様	三河 祐雄 様	窪田 正明 様
岡田 貞夫 様	立林 寛 様	三輪要一郎 様	岡司 博 様
岡田 正史 様	田中 武 様	村上日出男 様	高橋二三夫 様
岡田 由嗣 様	田中 利幸 様	森 透 様	堀川 貞雄 様
奥泉 譲 様	玉木 洋 様	森 寛 様	三田村茂弘 様
尾関由起夫 様	千森 弘子 様	安田 年博 様	三屋 利明 様
柿本 精一 様	坪田 光司 様	柳澤 昌一 様	宮澤 利典 様
加藤 英人 様	徳市 清文 様	山内 信哉 様	森永 益男 様
加藤 宏吉 様	永井 智 様	山口 光孝 様	山中 孝司 様
金子 達郎 様	長濱 豊 様	山崎 滋孝 様	吉崎 保夫 様
川上 洋司 様	中村 清 様	山下 恵代 様	ほか 匿名希望の方 42名
川端 敏隆 様	中村 進一 様	山下 隆男 様	
北野 盛一 様	西村 輝雄 様	山森 義弘 様	

法人・団体

株式会社アートテクノロジー 様
株式会社アイビックス 様
ウエストランバー株式会社 様
株式会社上田五兵衛商店 様
株式会社ウエマツ 様
株式会社HCI 様
株式会社永和システムマネジメント 様
株式会社エクシード 様
株式会社江守情報 様
医療法人社団河原皮膚科医院 様
Genky DrugStores株式会社 様
医療法人社団こじま肛門外科 様
嵯峨野株式会社 様
株式会社塩浜工業 様
株式会社ジャロック 様
株式会社SHINDO 様
大和建設株式会社 様
株式会社天晴データネット 様
有限会社トップテクノ 様
轟産業株式会社 様
永森建設株式会社 様
株式会社西尾木材工業所 様
西島木材株式会社 様
株式会社ネスティ 様
平崎特許事務所 様
福井システムズ株式会社 様
一般社団法人福井大学医学部同窓会 白翁会 様
藤井防災エネルギー株式会社 様
株式会社マルツホールディングス 様
株式会社ミルコン 様
有限会社昂成都市計画 様
吉岡幸株式会社 様
ヨシダ工業株式会社 様

福井大学基金の詳細については福井大学HPをご覧ください。 <https://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>



お問い合わせ先

福井大学基金事務局

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9-1

TEL 0776-27-9903 (ダイヤルイン) FAX 0776-27-8518 E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp

大学にどのような
研究者がいるのか
わからない?

課題を解決したい。
相談にのって
もらえないか?

産学官連携 コンシェルジュ

HI-SAC CONCIERGE

新商品・新技术開発に
つながる情報・人材を
紹介してほしい。



技術・経営課題をお持ちの企業様 産学官連携コンシェルジュにお任せください。



「産学官連携コンシェルジュ」とは、
産学官連携や地域連携および
研究活動の支援を専門に行うスタッフです。
地域の方々が抱える課題解決に結びつく、
適切な大学の資源をご提供いたします



まずはお電話かメールにてお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】産学官連携コンシェルジュ ☎ 090-1635-1000 担当:徳田・河上
平日:9:00~17:00

✉ concierge@hisac.u-fukui.ac.jp

◎お電話の通話は応対の品質向上の為、録音させていただきます。